

領域プロジェクト名称	家庭内各種センサーが生み出す広域サービスの付加価値定量化
担当教員	阿部力也特任教授
プロジェクトの狙い	少子高齢化社会に移行していく過程で、家庭内では様々なサービスニーズが発生している。これはクリステンセンらが言う「無消費」ニーズになっていて掘り起こされているものが少ない。これらを探り出し、実現するシステムを構想しウェブアプリを構築する。
プロジェクトの内容	家庭内で必要とされている「無消費」サービスを、インタビュー形式で探し出す。対象者が気付いていないサービスを探し出すため、行動記録を中心としたインタビューを行う。家庭レベルの空間配置から生まれる広域サービスについても検討する。 探し出したサービスを実現するシステムおよび必要なセンサー等を考案し、ウェブアプリ化する。 それらのサービスが生み出す付加価値について定量化を図る。
プロジェクト開催場所	工学部3号館オフィス（306号、319号室他）
プロジェクト計画	週1－2回のミーティング（内1回は定例曜日）をベースとして、研究を進める。チームとして研究を進め、学生が独自の提案ができるよう指導する。 ウェブページの開発も並行し、新たなビジネスモデルを可視化する。
ホームページ	http://digitalgrid.u-tokyo.ac.jp/ http://www.digitalgrid.org/index.php?lang=jp （総括プロジェクト機構：デジタルグリッド寄付講座） 技術経営戦略学専攻兼担 阿部研究室 システム創生学専攻 田中研究室と共同運営